



# モノづくりで社会貢献を実現

## 株式会社 豊栄工業

所在地 新城市川田字新間平1-369 TEL 0536-22-0696



## 時代の変化とともに 新しい分野に挑戦

今から50年以上前の1970年に、新城市で創業したモノづくりの会社です。当初は、自動車や工作機械に使われる金属部品の製造が主な仕事でした。1/1000ミリ単位での精密さが求められる金属加工の仕事の続けるなかで、技術を磨き、優秀な人材の育成に取り組んできました。

2000年になると、それまで培ってきた技術と経験を生かして、新しい分野に挑戦することに。それは、より高度な技術力と専門知識が必要な「医療機器」と、事業として全く未知の領域だった「バイオプラスチック」の分野です。地方の中小企業が取り組むのは困難だと、会社内からも意見があったそうです。しかし、「モノづくりを通して人類、社会に貢献する」という会社の理念に基づき、社員一丸となって挑戦。現在では両分野とも、豊栄工業の高い技術力を示す事業として、さらなる発展が期待されています。



第7回ものづくり日本大賞  
内閣総理大臣賞受賞

モノづくりが好きでこの仕事を選びました。経験を積んでもっと技術を向上させたい！

精密加工事業部  
長坂 正樹さん



## 未来を変える素材

### バイオプラスチック

豊栄工業では、とうもろこしやさとうきびなどから採取できる、「でんぷん」や「糖」を原料とするバイオプラスチックを扱っています。100%自然の材料からできており、環境や人体に悪影響を及ぼさないプラスチック素材として、世界的に注目されています。また、このバイオプラスチックが、医療で使われる手術用の糸など、限られた分野でしか利用されていなかった頃から、豊栄工業は素材の可能性に注目。ただし、「ポリ乳酸」と呼ばれるバイオプラスチックの原料を、自由な形に加工、成形する技術がなかったため、商品を生産するまでには多くの困難があったと言います。失敗を繰り返し、外部の意見も取り入れながら技術の確立に務め、世界で初めてポリ乳酸の成形に成功。その技術を生かし、幼児向け食器ブランド「iiwan」を生産させました。



でんぷんや糖から作られる、バイオプラスチックの原料「ポリ乳酸」。

私たちが使っています！



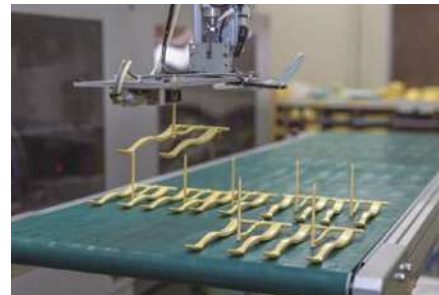
城所 美紀さん

近田 佳乃子さん

可愛いデザインでとっても使いやすいですよ



赤ちゃんの口に入っても安心安全な素材で作られている食器。ユニバーサルデザインを採用し、世代、性別関係なく誰でも使える「優しい」形状と色合いになっています。



豊栄工業の開発力、技術力を世界に示すバイオプラスチックの加工・成形技術。

iiwanのように一般の方が手に取ってくれる商品にチャレンジしたいですね！

精密加工事業部  
河合 陽平さん



医療機器分野 には参入

社会の役に立つ仕事

金属加工で培った技術を応用して、医療分野でも事業を展開しています。特別な金属を加工して作る「人工関節」や手術器具は、医療現場だけがや病気苦しむ人たちの役に立っています。人間の体内に直接接触する部品、器具になるので、高い技術力はもちろん、徹底した品質管理が必要です。そのために必要な国際規格や認証も取得しています。

また、豊栄工業では、「内視鏡用洗浄消毒器」という医療機器を製造しています。医療機器の部品や一部分のみを製造する中小規模の会社は多くありますが、製品を丸ごと一式作ることができる会社は限られています。それは、高い技術力に加えて、専門的な知識や設備、資格を必要とするからです。大変な仕事ですが、世の中の役に立つ製品を作っていることに、大きなやりがいと意義を感じています。



内視鏡用洗浄消毒器  
展示会などで本製品の紹介をする、豊栄工業の技術力の高さに驚く人も多いそうです。



股関節のインプラント

骨の代わりとなる金属性の器具。創業時からの金属加工の技術と経験が集約されてきた製品。

人の体に入るものなので失敗は許されません。大変ですが人の役に立つ仕事に誇りを持っています。

医療器具事業部 白井和成さん



社長や副社長とも自由に話せる会社です。みなさんに興味を持ってもらえたらうれしいです。



精密加工事業部 豊川工場 小沼展之さん



イノベーションが 挑戦し続ける原動力

豊栄工業は、従業員は全部で60数名と決して大きい会社ではありませんが、常に新しいことに挑戦し続けています。そのエネルギーの源は、新城の会社から「イノベーション」を起こすことです。イノベーションとは、今までになかった新たな考えや価値を生み出し、世の中をより良くすること。豊栄工業では、人と人が出会い、ふれあうことでイノベーションが起こると考えています。社内に部署はありますが、その垣根を超えて社員一人一人が自由に発想して、チャレンジする風土が育っています。技術の進歩は、予想もしない未来を見せてくれます。時には飛躍して新しいことにチャレンジすることが会社や社会を変えていきます。

副社長 から みんなに MESSAGE 副社長 美和 敬弘さん

何にでも興味を持って取り組もう

日々の生活のなかで、色々なことに興味を持って取り組む姿勢が大切です。きっとそこに新しい発見があるはず。色々なものを見て、さわって体験することを、みなさんのなかに積み上げていてください。ふるさとの新たな魅力も見つかるかもしれません。守りに入らずチャレンジしよう!

